

# たかがい恵美子の活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館714号室

TEL 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

## 国会議員としての1年を振り返って

私が新しいスタート地点に立ったあの暑い夏の日から、早や一年が経ちました。711は「ひとの生きる力を守る」看護のパワーを「社会の生きる力を創り出す」政治へと活かす」第一歩を踏み出した記念の日です。新人議員としての私をいつも励まし、お支え頂きました皆様に心よりお礼申し上げます。

この一年、様々な活動をさせて頂く機会を頂戴いたしました。参議院議員として最初の臨時国会では自らの歳費を削減する法案を決議し、続く厚生労働委員会の初質問では看護界の現在・過去・未来に共通する構造的な課題を明示し、次代に対応できる新たな社会保障体系を構築する政策の立案を急ぐよう提案しました。

同時に党では、女性局長代理として全国約39万人に及ぶ自民党女性たちの意見を集約して組織の活性化を図る任務にあたっています。年明け3月4日には、厚生労働部会と同部会看護問題小委員会合同による「穏やかな最期を保証するコミュニティづくり」に関する中間報告をとりまとめました。さらに看護職の先輩たち仲間たちが長年培ってきた看護問題対策議員連盟（看護連）については、会員拡大を図り、同僚議員等とともに各地の看護の現場へお邪魔してご意見を頂戴するなど、実際の業務を見て解決策を考えていただく活動も始めました。

人々の健康的な暮らしを実現するために必要な看護職だからこそ言えること、やらねばならないことが山積しています。大震災の残痕から、愛する故郷日本の暮らしを取り戻す戦いもまた、この時代に生きる私たちに与えられた試練の一つと受け止めています。

みなさまとともに、我らが行く先をしっかりと見据えて、地に足の着いた活動を心がけて参ります。今後ともご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 参・東日本大震災復興特別委員会で質問

7月11日、東日本大震災復興特別委員会において質問に立ちました。案件は「平成23年原子力事故による被害に係る緊急措置に関する法律案」の審議でした。福島原発事故に対する政府の救済策は、東京電力と文部科学省に設置された紛争審査会に任せきりになっており、「遅い」「(対象が)狭い」「不明確」という状況に置かれています。今、一刻も早い救済策を講じることが何より必要です。自民党ではこのような事態を憂慮し、原子力被害者の救済を早急に行うためには議員立法により対応するしかないと、4月下旬にその方針を定め、法案作成作業を行い、公明党、みんなの党、たちあがれ日本、新党改革の賛同を得て本法案を国会に提出したものです。

質問において、本法案の必要性を認識して頂き、早期成立を要望するとともに、成立した場合の仮払いの執行時期の目処を示すよう求めました。また、6月末に政府より唐突に示された「特定避難勧奨地点」について、地域を分断するものであり、地域コミュニティの喪失の問題をどのように考えているのか、政府として賠償を行う用意があるのかどうかなどについて政府の見解を問いました。答弁において、住民目線でその気持ちに寄り添い、必要な支援・救済を行っていかうとする政府の姿勢が感じられなかったことは甚だ遺憾に思います。